MORI MORI PRESS

モリモリプレス

January 1 2010新春号

県政報告 埼玉県議会議員 森田としかずニュースレター
www.morita-kouen.net
森田としかず 検索
発行／埼玉県議会自民党議員団
E-mail info@morita-kouen.net

事務所開設!!! tel.048-530-6001
森田としかず事務所（通称:モリモリオフィス）
〒360-0831 熊谷市久保島1003-2
fax.048-530-6002
平日 9:00～17:00(土・日・祝日はお休み)

討議資料

どうなる？ どうする？

ご意見ありがとうございました!

前回モリモリプレス10号にて、八ッ場ダム、自転車道の整備について、ご意見を募集したところ、読者の方からご意見をいただくことができました。ありがとうございました!! 主なご意見を要約し、ご紹介いたします！

八ッ場ダム

八ッ場ダムの建設現場

《建設推進》

- 洪水、渇水は予測できることではないので対策をとらないといけない。
- 現在までの進捗状況を考えると、工事の中止はあり得ない。
- マニフェストに載っているとはいえ、民主党の支持者全員が建設中止に賛成しているとは考えられない。

《建設中止》

- 計画以来利根川は氾濫していないので、中止にした方が良い。
- ダムを造れば、その後何百年もお金がかかり、子どもや孫の代に至るまで無駄な税金を使うことになる。

森田はこう考える!

ダムはいざというときの備えです。大雨の時、加須や大利根の方は洪水の心配をしなければなりません。また、夏の渇水時、特に東部地区の方は取水制限の心配をしなければいけません。県の責任として、これらの状況を改善する必要があります。中止するなら、国は代案を示すべきです！！

自転車道

《整備推進》

- 環境の時代、車ばかりに頼らず、自転車が利用しやすい空間を整備する必要がある。
- まちなかに広い道路が多い熊谷は、自転車道整備のモデル地区にふさわしい。

《整備反対》

- 自転車道をスピードを出して走れば、バス停で降りた人とぶつかって危ない。
- 国道の車線を減らすと、渋滞で排気ガスも増え、環境に良くない。

社会実験の様子

森田はこう考える！

自転車を愛する者として、自転車がまちなかを安全に通行できる仕組みを整える必要があると思います。しかし、国道17号の車線を減らすのはやりすぎで、歩道内を区切り、自転車レーンとして使用することが望ましいと考えます！！

今年は年男!! 山積する課題に、積極果敢に「トラ」イ!!

民主党政権の誕生から4ヶ月。国の政策が大きく転換し、県の事業、予算等にも影響が出てきました。無駄なものを削る、ということには賛成ですが、一歩間違えば、必要な事業をなくしてしまう、あるいは縮小してしまうということにもなります。

皆様の声に、しっかりと耳を傾け、何が大切なのか、何が必要なのか、判断して行動してまいります！難しい課題が山積ですが、平成22年、年男として積極果敢に「トラ」イします！！

森田の森づくり Morita no Morizukuri

宮脇昭先生

「あっぱれ！熊谷流 ふるさとの森」育樹祭 11/28

開会式の様子

植えてくれた生徒も応援に!

一昨年11月に、さくら運動公園に植えた木々の管理をすべく、植樹祭が行われました！

地元の大麻生小学校、中学校の児童、生徒の皆さんをはじめ、およそ180名が参加し、除草をしたり、肥料をまいたりしました！

「いのちを守る森づくり親子植樹祭」 11/29

お隣行田市でも、去年に引き続き行田市総合公園にて、植樹祭が行われました！宮脇昭先生も実地指導に訪れ、およそ400名の参加者が3,000本の樹を植えました!!

まずは苗を植えます

植樹後の様子

「県議会の森」誕生!! 12/18

「一人一本植樹運動」を進める埼玉県。その取り組みを側面支援するため、県議会でも「県議会の森」をつくりました。県庁近くにある議長公館・議員会館跡地を活用し、埼玉県にちなんだ木々96本を植え、県民の皆さんの森として開放するものです。12月18日に記念式典が開かれ、知事や議長経験者が記念植樹をし、開設を祝いました！！

式典では議長が挨拶

記念植樹

こんな感じの公園になっています

川口市・三郷市 県内視察 2009 11/19

県土都市整備委員会

新三郷ららシティ

旧芝川

ここを活かす!! 藤衛門川、旧芝川では、水に親しめる空間としての河川整備を視察しました。鳥や水生生物が集まりやすい工夫をしたり、流れを自然の状態に近づけたり。しかし問題は費用です。「ちょっと手がかかりすぎでは？」という声も聞かれました。費用を抑えつつ、親しんでもらえる河川空間をつくる必要があります！

藤衛門川

全農青果ステーションを視察 2009 12/7

コンテナで集荷されます

全農青果ステーション

箱詰めの作業です

ここを活かす!! このステーションでは、収穫したままの農産物をコンテナで受け取り、荷造りや、袋詰めをします。一連の作業はパートさんが行います。高齢化する農家の省力化に寄与する一方、小売店などのニーズにも細かく応えられるというメリットもあります！

もやしづくりを視察 深谷市新井 飯塚商店様 2009 12/12

ここを活かす!! 生産者と消費者が遠くなっている現在の状態を少しでも改善すべく、飯塚さんは日々奮闘されています。「農薬も一切使用せず、ありのままを見てもらい、安心して食べてもらいたい」という思い。これからの農業の一つのヒントを見た気がします！！

まず、水でふやかします

倉庫のような建物の中でもやしは育ちます

これで、芽が出て5日目だそうです